

平成 28 年度（第 1 学期）クラス代表懇談会で出された意見について

平成 28 年度第 1 学期クラス代表懇談会、並びにそれに先立って行われたアンケートでは、共通教育の授業や学生生活全般に関して様々な意見が寄せられました。ご意見ありがとうございます。その内容は多岐にわたっていますので、個別に回答せず、意見を整理し、それに対して教職員の考え方、意見等を述べることにしました。以下は、全学教育推進機構内外のいろいろな部署の教職員の方々の意見を参考にしながら、全学共通教育部門でまとめたものです。文責は宇野にあります。

宇野勝博(全学教育推進機構・全学共通教育部門長)

以下、○印の付いた黒字部分が学生の皆さんからの意見や提案をまとめたもの、矢印(→)の付いた青字部分が当方の考え、意見、あるいは、全学教育推進機構外からいただいたご回答などです。

シラバス、KOAN について

- 紙媒体も配って欲しい。
→履修登録期間に何らかの形で紙での情報も提供することを検討します。
- 検索条件が分かりにくい、など、検索がし辛い。
→検索時間についてはサーバの性能向上で改善しつつあります。また、検索条件は、項目を減らすと多くの科目が表示されるので、どの程度が妥当か難しいところですが、引き続き検討します。
- 学部別の時間割や履修の手引きも作って欲しい。
→次のページをご覧ください。学部別の情報が集められています。
<http://www.celas.osaka-u.ac.jp/education/syllabus>
- KOAN のお知らせメールからすぐ該当ページに飛べるようにして欲しい。
→全学 IT 認証基盤サービスを通らないとログインできません。新 KOAN では、メール本文に内容が記載されますので、内容によりますが、ログインしなくても掲示内容が分かります。
来年度から新 KOAN に切り替わりスマホへの対応もよくなります。今年末か来年始めには新たな KOAN をリリースする予定です。
- アプリでシラバスを開くと落ちるものがある。
→KOAN のアプリは学生さんが作成したものを大学が認める形をとっています。大学が作っているものではありませんが、アプリを作成した学生さんに伝えます。
- 成績のつけ方の書く場所や書き方を統一して欲しい。
→検討いたします。
- シラバスを学籍番号で絞れるようにしてほしい。

→申し訳ありませんが、基本的にはすべての科目について受講できる可能性があるので、絞ることは難しいです。

履修登録の方法や時期について

- 時間割の具体例（先輩の時間割など）を示して欲しい。
→必修科目を中心とした学部学科別の時間割モデルの作成を検討をします。
- 履修登録期間が短い。また、基礎セミナーの希望票の提出期限が早すぎる。
- 授業選択をするために必要な情報が少ない。特に、基礎セミナー、教養科目、教職科目の情報（内容も）についてもっと早く詳細を教えてください。
- 体育と基礎セミナーだけ紙で履修登録するのが面倒くさいからネットにまとめてほしい。
- Web上に履修登録の仕方が載っている写真や動画をのせてほしい。
- 実践英語の担当教授は自分で選ぶのか、自動的に入力されるのかが分かりにくい。
- いつでも消せるようにしてほしい。
- どの授業で先生が選べてどの授業で選べないのか分かりにくい。
- 事前に確定している授業を予め週の予定表に入れてほしい。
- 学科説明会時にサイバーで一斉登録したら良いのでは？
- KOANでの履修登録時、当落通知がほしい。
- 履修登録の日、早く終わった人は先に帰らせてほしい。
- 授業の雰囲気を知ってから、受講するかとどうかを決定したい。講義の録画を履修登録時までに見ることができれば良い。
- 全体的に分かりにくい。

→（以上）新入生の皆さんが大阪大学の学生となる4月1日以降でないとアカウントが発行できません。また、年度始めは行事が集中しているため、履修登録期間はどうしても短くなってしまいます。しかし、多くの皆さんから様々な点で分かりにくいとのご意見がありましたので、より分かり易い形で3月中に情報提供ができないか、抜本的な検討を始めました。すぐに大幅に改善できるかどうか分かりませんが、できるだけこうしたご意見に対応したいと思います。また、体育と基礎セミナーは担当教員が希望票などを確認する作業が必要ですので、どうしても紙での履修登録になります。ご理解ください。

- 受講定員を増やして欲しい。
- 先端教養科目と現代教養科目のように科目が違うが、同じ日程の授業も抽選できるようにしてほしい。
- 履修登録時に受講の希望順位を「一般教養」や「国際教養」といったカテゴリー別でつけたが、その順位を「○曜日の○限」の中につけることが出来るようにしてもらいたい。
→（以上）授業内容に応じて定員が定められているので、定員増加が難しい科目が多くあります。どうか、ご理解お願いいたします。また、抽選時の科目区分はすべての学生の皆さんに対応しようとすると変更が難しいのが現状です。これについても、どうかご理解ください。

「履修の手引」

- 必要単位数が分かりにくい。
→必要単位数は学部ごとに細かく区別して定められていますので、学期始めに各学部、各学科で開催されるガイダンスで確認するようにしてください。
- 授業一覧のところに授業の日時や講師の名前も載っていると助かる。
- 教養科目を選ぶ際にどこから選んでいいかわからなかった。
- 他学部の情報がたくさんあり、理解するのに時間がかかった。
- 学部ごとに、全学共通と専門が一冊にまとめたものの方がよい。
- シラバスの内容を載せてほしい。
- 1学期には履修できるが2学期にはできない講義や、1学期には履修できないが2学期にはできる講義をまとめて載せて欲しい。
→（以上）「履修の手引」は、共通教育についての情報をできるだけコンパクトに記載するため、現状のようになっています。学部に通用の情報と学部ごとの情報について、どちらも必要最小限を掲載しています。どうかご理解ください。

授業について

→授業については多くの意見がありました。皆さんの意見は、全学教育推進機構の会議で各科目責任者に伝えました。ただ、大学の授業は、学習指導要領に基づいて行われる高等学校までの授業とは異なり、必要な内容について、研究者でもある教員がそれぞれの切り口で深い所や他との繋がりなどを伝えることで学問の広がりを感じる場でもあります。授業で扱われることは学問全体から見るとごく一部です。授業を足掛かりに皆さんがさらに様々なことを学ぶことも期待されています。

生協食堂関係（大阪大学生協同組合様からご回答いただきました。）

○宙でもミールプランが使えるようにしてほしい。

→学生交流棟の「宙（そら）」は、大阪大学生協とは異なる事業者様が運営されており、大学生協の「ミールプラン」はお使いいただけません。

○学食が不足している、食堂の座席が少ない。

→総席数ですが、大阪大学生協が運営しております食堂の総席数は、豊中キャンパスでは 1,258 席です。内訳は、福利会館 3 階食堂 337 席、福利会館 4 階食堂 284 席、図書館下食堂 360 席、DonDon 213 席、カルチエ 24 席、坂 40 席です。豊中キャンパスには、生協が運営する食堂以外に以下の食堂施設があります。学生交流棟「宙」、カフェテリア「ラフォレ」、待兼山会館「LIBRE」。いずれも生協が運営しておりませんので、席数は分かりかねます。大阪大学生協として、特にお昼ピーク時の混雑緩和については「食事以外の席取りの防止」や「テーブルの空き席のない／詰めあつてのご利用」などについて、ご利用いただく組合員の皆様に、引き続き注意喚起をしております。

（以前から出されているご意見であり、全学教育推進機構も大学に伝えてはいますが、なかなかすぐには改善できないようです。）

○テイクアウトできるところが豊中は少ない。

→現在、豊中キャンパスの生協食堂でテイクアウトに対応しております施設は、福利会館 3 階食堂：10～20 食／日、福利会館 3 階パンショップ：150～200 食／日、図書館下入口販売所：250～300／日、DonDon 横キャンパスキッチン：140～180／日、カルチエ：400 人／日です。テイクアウトに対応していない施設は、福利会館 4 階食堂と坂です。

○食堂の丼のサイズ(大、中、小)を決められるようにしてほしい。

→これについては、生協の努力不足で申し訳ないことと思います。同じメニューで複数のサイズの中から選択いただけることも重要なサービスと考えていますが、複数サイズの出食をする場合、今まで 1 種類の食器で提供していたオペレーションから複数（最低でも 3 種）の食器での提供となり、食器の保管場所やかかるコスト（購入費用）の課題から、日常的に提供することができない状態です。今後の課題として検討してまいります。

○生協の開店時間を 18:30 までにしてほしい。

→以前は 5 限終了後（17 時 50 分）後にも生協購買店舗をご利用いただくために 18 時 15 分まで営業しておりましたが、この時間帯のご利用は 1 日数人程度で、全くご利用のない日も月に何回かあったことから、2015

年7月1日から18時00分閉店といたしました。ご利用いただく組合員のご要望に沿って運営することは生協としての基本ですが、一方で、ご利用の少ない時間帯に店舗を営業することとでかかる費用は、大阪大学生協の事業運営にとってはマイナス要素であり、閉店時刻の変更（前倒し）を実施した次第です。ご理解いただきますようお願いいたします。なお、今後、カリキュラムの変更などで18時以降の学内滞在人口が増え、採算面でも負担のない環境になった場合、改めて営業時間の変更（延長）を検討させていただきます。

- 学食の場所と混み具合の情報が早めに伝わっていると役に立つと思う。
→お恥ずかしいですが、具体的な方法が思いつきません。申し訳ありません。食堂ホールにWebカメラを設置して公開すれば、物理的／技術的には可能ですが、プライバシーの問題もあることから実現は難しいと考えます。

移動について

- 連絡バスの増便
→数年前にクラス代表懇談会での学生さんから出た要望をもとに増便しました。申し訳ありませんが、現時点では難しいです。
- 教室間移動
→休憩時間を長くすると授業の終わりが遅くなり、特に箕面キャンパスでは支障がでることから難しいです。

充実あるいは改善して欲しい設備

- 学生がくつろげる場所が少ない。
→スチューデント・コモンズや2016年10月にオープンしたサイエンス・コモンズを利用してください。
- ウォータークーラー
- 洋式トイレ、トイレのフックの位置、ウォシュレット
- ロッカー
- 黒板(小さい、見えない)
- 自販機
- 地図(コンパクトなもの、詳しいものなど)
- 施設の場所が分かりにくい。窓口がばらばらで分かりにくい。
- サイバーメディアセンターの開館時間を早くしてほしい(8:15～)。
- サイバーメディアセンターのPCが重い、また、プリンタの用紙がいつも足りない。
- 共通教育棟の廊下が暗い。

- カルチエ、コモンズのホワイトボードのマーカーが書けないことが多い。
- 様々な情報がたくさん提供されているので混乱する。整理してほしい。
- この懇談会の時間自体短い、回数も増やしたほうがよい。
→(以上) 毎年出されるご意見ですが、なかなか対応できないのが現状です。改善すべきことは徐々に進めますのでご理解ください。

「アカデミックライティング」について

→寄せられた意見は次回の冊子作成の際に参考にし、よりよい内容になるよう改善します。なお、レポートの見本を掲載してほしいとの意見が寄せられましたが、この冊子に見本を掲載することは以下の三つの理由から不相当だと考えます。第一に、レポートに求められる書式や体裁は学問分野によって異なりますので、統一した雛形を示すことは困難です。第二に、各科目で評価の基準が違いますので、一般的な優秀例を提示することは、あまり意味がありません。第三に、大学での学びは、既存の正解例・優秀例を追い求めるものでなく、みなさん自身が新しい価値を提案していくものだからです。課題を出した教員が想定していなかった、驚くような提出物を出すチャレンジをしてください。

国際交流センターについて

- 豊中に本部の機能がないと手続きのたびに吹田に行かなくてはいけなくなり面倒くさい。
- どこにあるかわかりづらい。もっと分かりやすい所に開くべき。
- イベントを開催してもらえると、もっと足を運びやすいと思う。
- 一度行って見たが溶け込めずその後行けていない。
- 知らない人が多い。もっと広めてほしい。
→(以上) 国際教育交流センターに伝えました。

全学教育推進機構の教室や設備の中でのネットワーク環境

→無線 LAN については、繋がりにくいなどの不満が多く出されています。全学教育総合棟、実験棟については、学内の担当部署と協議し改善が進んでいます。特に、2016年10月にオープンしたサイエンス・コモンズはネットワーク環境が整備されています。ぜひご利用ください。

図書館について

- 図書館の開館時間を7時にしてほしい。

→総合図書館では授業期間中の平日を8時から22時まで開館し、試験期間中の平日は24時間開館（グローバル・commonsのみ）しています。さらなる拡充のご要望は承知しましたが、経費等の問題から容易に実現できません。まずは現行の開館時間をできるだけ有効にご活用ください。

○図書館の入場をタッチ式にしてほしい。

→学生証（図書館の入館・貸出カードとして使用）が磁気ストライプ方式のため、入館ゲートもそれに対応させています。このため、タッチ式の導入は難しいのが現状です。ご了承ください。

○図書館が暑い。図書館のクーラーを早めにつけてほしい。

→光熱費予算の制約から節電をはかっていますが、館内の温湿度を定期的に観測し、室温28°Cを目安に可能な限り柔軟に空調運転するようにしています。今後もできる限り快適な学習環境の維持努力を続けていきます。

○無線LANの接続がうまくいかないことが多い。

→現在、総合図書館では「odins-1x」と「odins-wlan」の2系統の無線LANをご利用いただけますが、接続台数に限りがあり、混雑時にはつながりにくい状況があるようです。今後も大阪大学全体の情報教育環境の整備動向に合わせ、充実を図ります。

○図書館に現金でデータをコピーできるプリンタがほしい。

→経費等の問題があり難しいですが、大阪大学全体の情報教育環境の整備動向に合わせ、充実を図ります。なお、豊中キャンパスではサイバーメディアセンター豊中教育研究棟のCALL教室に、ファイル形式によらず端末から直接印刷できるプリンタが設置されていますので、そちらの利用もご検討ください（枚数に上限あり）。

○学習相談は、もう少し時間を長くして人数と専門のバリエーションも増やした方が良くと思う。

→総合図書館ではラーニング・commonsおよびグローバル・commonsで合わせて9名、7つの研究科からのティーチング・アシスタントが学習相談に対応しています。また、10月以降、全学教育推進機構のガイダンス室（管理・講義A棟2階）を統合し、より多くの大学院学生が学習相談に応じています。なお、10月からは生命科学図書館でもティーチング・アシスタントの活動が始まり、4館すべてで学習相談を受け付けます。他館と連携して対応することもできますので、担当者が直接の専門でない場合にも一度ご相談ください。

新生生にとって、どのような情報や支援があれば大学生活に慣れるために役立つと思いますか。および、その他の意見・要望

- 友だち作りのしやすい環境の整備
- 大学の雰囲気が閉鎖的のように感じます。
- 万人が気安く訪れられる大学作りを推進していただきたい。
 - (以上) スチューデント・コモンズやサイエンス・コモンズは友達つくりの環境が整っていますし、大学を開放的な雰囲気にするためのものです。気安く訪れることのできる場所ですので、ぜひ利用してください。
- 箕面、吹田、豊中間の学生や他学部の学生との交流の場がほしい。
- 先輩と交流できるイベントが欲しい (特に同学科の先輩)。
 - (以上) スチューデント・コモンズやサイエンス・コモンズは学生が自主的な討論会やイベント、交流会に使える空間として創出されました。皆さんの積極的な利用を期待しています。利用方法などは、全学教育推進機構のホームページ http://www.celas.osaka-u.ac.jp/s_c をご覧ください。
- 大学付近の情報 (スーパーなどの周りのお店なども)
- 下宿生へのサポート(例、自炊、金銭などについてのアドバイス)
- サークルのできるだけ早く正確な情報 (公認サークルの情報など。特に、どれだけの時間が必要で、先輩がどのように時間を活用しているのかについて)
- 単位、TA など、大学の基本的な仕組みについての情報
- カルトの情報は早く欲しい。引っかけりかけた。
- 経済的支援、バイトの情報
- 学生が入る保険の早く正確な情報 (特に教職をとる人のための総合演習や教育実習に対応した保険)
- 比較的早くあるイベント (いちょう祭、夏祭りなど) についての情報
- 留学についての情報
- 未定なことは未定だとあらかじめ教えてほしい。
- 教科書が高い。また、授業で不要なものを買わせないでほしい。
- 生協カードと学生証を同じカードにしてほしい。
- センターが多くて区別がつかない。その建物も分かりにくい。
- 阪大坂を自転車で通行できたら便利。せめて手押しなら OK にしてほしい。
- 朝、高校生が自転車で阪大坂を猛スピードでくだるのがあぶない。
 - (以上) ご意見ありがとうございます。情報については、「阪大生活」など、発信方法の検討を進めます。阪大では、O+PUS、掲示物などにより多くの情報を発信していますので、学生の皆さんも、どうか積極的に情報収集していただきますようお願いいたします。阪大坂については、大学外

部との関係もあり、対応が難しい状況です。先輩とのコンタクトの機会については、全学教育推進機構としての対応は難しいですが、学内の様々なイベントの情報収集、あるいは、学部学科等の行事への参加をお願いいたします。

今後とも、全学教育推進機構外の機関とも協力しつつ、大阪大学での、学生の皆さんの学習環境、生活環境が少しずつでも良くなるよう務めますので、よろしくお願いいたします。